

平成 2 1 年度
自治基本条例の運用状況検証結果

平成 2 4 年 1 月
おいらせ町自治推進委員会

平成 21 年度自治基本条例の運用状況検証結果について

自治基本条例第 39 条の規定に基づき、本条例の運用状況の検証を行うため、平成 23 年 2 月 28 日に公募委員 2 名を含む 5 名が「自治推進委員」に委嘱され、自治推進委員会が設置されました。

本条例が施行してから初めての検証作業であり、検証の中で「行政評価」と「行政監視」を含めた形で始めたため、平成 23 年度に報告するにいたりました。

なお、今回は本条例の施行に関する取扱要領に基づく、行政の運用状況について、平成 21 年度分の検証を実施いたしましたので報告します。

1) 審議会・委員会等の公募状況等の検証

公募をしていない審議会・委員会等が意外と多いように感じる。

公募をしていない或いは公募をしない理由について、説得性に欠ける。

出来るだけ公募委員を設けるよう努めて欲しい。

公募しないのであれば、しない、出来ない理由の説得性・納得性のある根拠を示して欲しい。

委員に占める女性の割合が、3 割以下若しくは一人もいない審議会・委員会等があるので、男女共同参画基本法に基づく男女比半数とまでは言わないが、少なくとも女性の占める割合が 3 割以上を目標に、委員等の人選に努めて欲しい。

審議会・委員会等に、宛て職として議会議員を割り当てているように見受けられるものがあるが、そのような選任方法は、極力なくした方が良い。

公募委員の数は、委員総数の 2 割以上を目標に公募して欲しい。

2) 町民の意見を求めるために実施した事務・事業の検証

計画策定にあたり、パブリックコメントやアンケート調査を実施し、広く町民の意向を反映させている。しかし、パブリックコメントに対する意見が寄せられなかったのが残念である。

公表方法としては、町広報紙及びホームページを活用している点は評価できる。ただし、アンケート調査結果や計画書そのものは、広報紙では伝えきれず、ホームページや担当課窓口等での閲覧という対応となり、広く町民に公表しきれない点が課題である。

3) 事務・事業の計画や成果の公表並びに委員会等の会議公開及び会議録の公開状況の検証

ホームページだけの公開だと、ホームページを見られない人もいるので、広報紙にも掲載するべきではないか。また、情報を公開する際には、その情報を必要としている人たちの目に届くよう、内容によって公開等掲載方法を考えて欲しい。

特に高齢者は、ホームページを見られない方が多い。ホームページに掲載して公表しているから良いでは困る。広く町民に公表する方法が課題である。

4) 事前の予備知識や周知を目的とした町民に分かりやすい説明(会)等の 取り組み状況の検証

町民に分かりやすいように説明会等の取り組みをしていると思うが、町民の参加状況は決して高くない傾向である。参加しやすい、開催時間・開催方法・周知方法等、広く町民に分かってもらえるよう工夫する必要がある。

以上、検証結果の報告とします。

なお、運用状況検証資料については、別紙をご参照ください。

平成24年1月

おいらせ町自治推進委員会

委員長 福原 仁一

副委員長 藤ヶ森 和子

委員 柏崎 利信

委員 工藤 一雄

委員 種市 恭子